

# 第3回 和東町まち・ひと・しごと創生推進会議

## 議事要旨

日時:令和3年8月24日(火)午後3時00分～午後3時55分

場所:社会福祉センター大ホール

出席者(11名)

町長:堀町長

出席委員:藤井委員、濟藤委員、村田委員、井上委員、姫野委員、湊委員、長尾委員、木村委員、松村委員、上嶋委員、竹内委員

欠席委員:大西(隆)委員、小松委員、中井委員、河上委員

事務局:岡田課長、宮木担当課長、(株)ぎょうせい3名

配布資料

- 資料-1 第2回和東町まち・ひと・しごと創生推進会議 ご意見に対する計画(案)の見直しについて
- 資料-2 第2回和東町まち・ひと・しごと創生推進会議の意見を踏まえた計画書変更箇所抜粋
- 資料-3 和東町第5次総合計画(案)及び第2期和東町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関するパブリックコメント手続きの結果について
- 資料-5 第2回和東町まち・ひと・しごと創生推進会議議事録

1. 開会

2. 座長挨拶

3. 議事

(1) 報告事項

第5回和東町第5次総合計画審議会における議事録等について

座長:報告を受けてご質問あるか。

委員:意見なし。

## (2) 協議事項

### (1) 和束町第5次総合計画（最終案）について

座長：説明を受けてご質問あるか。

上嶋委員：資料1の No.6のプロジェクトチームの設置はいつぐらいを想定されているのか。

事務局：事業の予算を確保する必要があるため、実際の設置は来年度以降になるが、事前にできる準備に関しては、計画策定後すぐに関係者と体制づくりや、近隣市町村等と検討を進めていく考えである。

済藤委員：次を見据えていないと今までと変わらない形となるので、委員をはじめ住民等が前に進んでいる実感できるスピード感で進めてもらいたい。

岡田(文)委員：トンネル開通が3年後に迫っている中で、プロジェクトチームの設置が来年度からとは遅すぎると思うが、どのように考えているのか。

事務局：具体的な事業実施に向けた予算確保は来年度となるが、住民や関係者等へのヒアリングなど、予算をかけない取組・準備はスピード感を持って進めていく。

岡田(文)委員：予算を付けなくても会議を重ねることはできるのではないか。

事務局：まずは、環境整備に向けて課題を抽出することが必要であると考えている。庁内でまず検討を重ね、来年度からすぐに動ける体制づくりを進めていく考えである。それに伴い、委員の皆様からもご意見いただくなどご協力をお願いしたい。

木村委員：最終の会議なので全体的には賛同とするが、資料1の No.1と2について、No.1の教育の充実では、「学社連携したキャリア教育」と見直ししていただいたが、内容は教育委員会の事業の充実となっているので、移住定住に繋がる内容にはなっていないと思う。すぐでなくてもよいので、生涯学習の観点から、行政から思い切った施策を進めていかないとダメだと思う。後期の見直しのときは、思い切った施策を入れてほしい。No.2の林業の施策の見直しについて、林業をどのように再生していくかが弱い気がする。後期基本計画では自然循環（サステナビリティ）によるコンパクトな林業の構築を計画の中で示して、どのような具体事業を示すのかを創生推進会議の中で検討していけるとよい。これまで3年間林業促進協議会の林業モデルに関して、仕組みづくり等を考えてきたので、後期では反映していけるとよい。

座長：今の意見は、今後戦略会議の中で検討していただきたいということでよいか。

木村委員：その通り。

座長：意見なければ、原案としてはこの内容で良いか。

委員：異議なし。

#### 4. その他

町長：本日の会議では、地方創生総合戦略および総合計画について、ご審議いただいた。総合計画は第5期、併せて地方創生総合戦略は第2期となる。総合戦略は、特に和東町のような過疎地域が少子高齢化を抑制するために、どのようにまちづくりをしていくかを明確にして、総合計画の重点事業として推進していくものである。皆さまにはお忙しい中、ご審議いただき貴重なご意見をいただいた。大事なことは、計画が計画倒れにならないよう認識して推進しなければならないこと。住民とともに作りあげる協働のまちづくりも、なかなか上手く進まない状況であったが、これまでの反省を踏まえて、時代の流れをいかに吸収していくかが大事である。総合戦略は副町長を筆頭にチームで推進していき、さらに事業の進捗状況をしっかり管理していくことが必要である。先ほどいただいた意見の中に施策を推進していくスピードが遅いとのことご意見があったが、弁解させていただきたい。犬打峠トンネルの着工までに、トンネルの必要性や開通後の展望を住民ともに要望し続け、実現したものである。災害時の孤立解消、買い物の利便性向上、農業（特にお茶）の流通スピードの改善等様々な角度から国や府に訴えてきた。この段階はまだ机上の話であるので、これからのプロジェクトチームではいかに具体化していくかの話し合いを持ちながら推進していくことが大事。また宇治市や木津川市、宇治田原、相楽2町1村とで連携を深めて、より具体化していく。皆さまには改めて感謝を申し上げます。

#### 5. 閉会

以上